

教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学びの視点からの学習・指導方法の改善の推進
平成30年度実践地域 研究課題及び概要一覧

実践地域	拠点校	研究課題	研究概要
北海道 教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道夕張高等学校 ●北海道静内高等学校 ●北海道遠別農業高等学校 ●北海道帯広柏葉高等学校 	<p>指定校における生徒の学習方法の改善に資する主体的・対話的で深い学びの視点からの指導方法の確立、並びに研究内容の充実のための指定校間の連携及び研究成果の普及を図る遠隔システムを活用した他圏域等との交流体制の構築</p>	<p>ア サポート校の支援のもと、指定校において、生徒や地域等の状況を踏まえた上で、生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にするとともに、学校全体で指導方法の改善に取り組むための校内体制の在り方について研究する。</p> <p>イ 拠点校及び推進校における「SCRUM」の視点及び各校の研究テーマを踏まえた資質・能力を確実に育成するための教育課程の編成・実施、「カリキュラム・マネジメント」の確立、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの指導方法、思考力・判断力・表現力の評価方法について研究する。</p> <p>ウ 様々な地域や学校規模、教員集団の構成等においても実践可能な取組とするため、圏域内における各指定校の日常的な連携の在り方について研究する。</p> <p>エ 本研究の取組の充実を図るとともに、成果の普及に資するため、遠隔システムを活用した他の圏域及び他県との連携の在り方について研究する。</p>
秋田県 教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●大館市立城南小学校 ●大仙市立大曲小学校 ●大仙市立大曲中学校 	<p>拠点校が研究の重点とする教科等における、各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせた「深い学び」の実現に向けた授業改善の取組</p>	<p>(1) 主に次の学習活動における指導の手立てについて、各教科等の特質を踏まえるとともに、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して工夫改善を図る。</p> <p>ア 問題を見いだし解決の見通しをもつ活動</p> <p>イ 他者と協働して考えを形成し、自己の考えを広げ深める活動</p> <p>ウ 知識や技能を活用したり知識等を相互に関連付けたりして深い理解につなげる活動</p> <p>エ 自身の学びを振り返り変容を自覚する活動</p> <p>(2) 全教職員による共同研究を機能させるための授業研究協議会の内容及び方法等を工夫する。</p> <p>(3) 拠点校の取組の充実を図るために、市内の小・中学校と協力して取り組む体制を構築する。</p> <p>(4) 拠点校である小・中学校の授業改善の取組を、本県が指定している「探</p>

実践地域	拠点校	研究課題	研究概要
			<p>究活動等実践モデル校」の県立大曲高等学校等と共有するなどし、小・中学校と高等学校が授業改善に連携して取り組むための効果的な方策等を探る。</p>
<p>群馬県 教育委員会</p>	<p>●群馬県立安中総合学園 高等学校 ●群馬県立松井田高等学校</p>	<p>「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の実現に向け、学校全体で組織的・計画的な授業改善や校内研修を実施するとともに、教員の専門性を高める取組</p>	<p>本実践研究は、生徒一人一人に生きる力を育むことを目指し、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うことをねらいとする。特に、各教科・科目の特質に応じて物事を捉える見方・考え方が鍛えられるよう留意し、生徒がその見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする過程を重視した学習・指導方法を推進したい。そのために、群馬県教育委員会は、生徒が主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点に立った授業を推進し、組織的な研究授業や授業研究等の校内研修を実施し、教員の指導方法の専門性を高める「群馬県高校生ステップアップサポート事業」の一層の充実を図る。</p>
<p>国立大学法人 新潟大学</p>	<p>●新潟大学教育学部附属 新潟中学校</p>	<p>① 「確かな学びを促す3つの重点」を基に資質・能力を育成することを目標とした授業改善の推進 ② 生徒が身に付けた資質・能力の高まりをより実感できる評価方法の工夫 ③ 生徒が教科等横断的に自分の生き方に必要な資質・能力として実感できるカリキュラムづくりの推進</p>	<p>①に関して ・育成する資質・能力の明確化 ・全教科で「確かな学びを促す3つの重点」を基に、資質・能力が高まった生徒とそのため有効な働き掛けを明らかにすること。 ②に関して ・「学習としての評価」を前提に、生徒のメタ認知を高める評価方法の開発 ・新3観点評価の導入 ・カリキュラム・ルーブリック・シラバスの明示化、学びを振り返るポートフォリオの活用 ③に関して ・総合的な学習の時間の工夫 →生徒の学びを統合する「生き方・学び方」の時間の設定 →本物の体験を基に社会につなげる探究の時間の設定 ④その他ー研究の連携強化の工夫</p>

実践地域	拠点校	研究課題	研究概要
			<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が参加する全体研究を軸とした校内研究体制の充実 ・研究者（京都大学大学院・石井英真氏，東洋大学・後藤顕一氏）との連携を図り，先進的な知見からの実践研究の推進 ・県内大学（新潟大学が主），市内・県内の行政機関，市内・県内の公立中学校との共同研究の推進 ・教育研究発表会，春の公開授業研修を軸に県内，市内に広く研究成果の発信をする研究会の実施 ・実践協議会を年間2回開催し，指導者の方から本事業の指導を受ける。
<p style="text-align: center;">福井県 教育委員会</p>	<p style="text-align: center;">●福井県立若狭高等学校</p>	<p>① 目標設定に関する課題 各教科の学習活動の基準となる目標の設定と、各学校における本質的な学びのあり方についての共通理解</p> <p>② 目標と学習活動の一体化 目標準じた学習活動の実現</p> <p>③ 評価に関する課題 パフォーマンス評価やポートフォリオ評価などを取り入れた評価の研究</p>	<p>拠点校による以下の取り組みを実践し、研究成果を普及させる。</p> <p>① 目標の設定 生徒の状況に基づき、教科の特性に応じた目標を設定する。</p> <p>② 学習活動の組織 目標と一体化した学習活動を各教科で構想する。</p> <p>③ 評価方法の開発 ア. 評価課題の策定 イ. 総括的な評価の開発 ウ. 形成的な評価の方法 エ. 社会に開かれた評価</p> <p>①～③のプロセスを経て、各教科年間2つの単元を開発し、公開研究授業を行う。実践協議会を開催し、本研究における評価を受ける。</p>
<p style="text-align: center;">三重県 教育委員会</p>	<p style="text-align: center;">●三重県立川越高等学校 ●三重県立紀南高等学校</p>	<p>主体的・対話的で深い学びの視点からの学習・指導方法の充実と主体的・対話的で深い学びにいたる学習成果を測るための評価についての研究</p>	<p>① 育成すべき資質・能力の設定 ○生徒が判断の根拠や理由を示しながら自分の考えを述べる力を身につけさせるために、教育課程全体及び総合的な学習の時間で育成すべきテーマを設定する。</p> <p>② 育成すべき資質・能力を育むために必要な学習・指導方法の開発 ○活動の見通しを立てて主体的・協働的に活動して発表し、振り返りを行うという学習スタイルを確立することにより、対話的な学びの実現に取り組む。 ○拠点校を中心に各教科等における主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について研究を進める。</p>

実践地域	拠点校	研究課題	研究概要
			<p>○教育課程全体を見通した教科横断的な学習プロセスの在り方の研究を進める。</p> <p>○県立菟野高等学校が取り組んでいる「高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業（国事業）」と連携を図りながら、学力の定着・向上に係るPDCAサイクルの在り方の研究を進める。</p> <p>③ 評価規準の設定や評価方法の工夫改善</p> <p>○生徒の学びの深まりを把握するため、「パフォーマンス評価」「ルーブリック」「ポートフォリオ評価」など、多様な評価手法の研究を進めるとともに、平成29年度「学びの変革推進事業（県事業）」の成果と課題を踏まえ、高校生が身につけるべき幅広い資質・能力についての評価の妥当性の確保や信頼性の向上に係る研究を進める。</p>
<p>京都市 教育委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●京都市立下京中学校 ●京都市立梅小路小学校 ●京都市立向島東中学校 ●京都市立向島小学校 ●京都市立向島藤の木小学校 ●京都市立七条中学校 ●京都市立七条小学校 ●京都市立七条第三小学校 ●京都市立洛北中学校 ●京都市立岩倉北小学校 	<p>「本質的な問い」「永続的な理解」「パフォーマンス課題」を取り入れた単元構想に基づく、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善を通じた、児童生徒が主体的に学び、思考・判断・表現し、探究する力の育成</p>	<p>育成すべき資質・能力に則した「本質的な問い」「永続的な理解」「パフォーマンス課題」を取り入れた単元構想に基づき、思考ツールや知識構成型ジグソー法等の授業手法の工夫など各拠点校の研究手法や授業デザインとも相互に関連付けながら、教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点から授業改善を目指す。主体的・対話的な学びからつながる深い学び、そして「本質的な学び」の実現に向けて、汎用性が高い問題解決的な学習、協働型授業等の開発・実践、単元を貫く「本質的な問い」の研究の深まり、児童生徒の主体的に学びに向かう力の育成・向上を図る。また、アクティブ・ラーニングの実効性を担保するため、各教科間を関連付けた横断的で順序性を意識した単元配列表・年間指導計画を作成し、PDCAサイクルによる学習・指導方法の改善を進めることで、「主体的・対話的で深い学び」の具現化を図る。</p>
<p>山口県 教育委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●岩国市立麻里布小学校 ●岩国市立麻里布中学校 	<p>学校・家庭・地域が連携・協働して子どもの学びや育ちを支援する「やまぐち型地域連携教育」を基盤とし、9年間の学びの系統性を見据えた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進</p>	<p>昨年度までの研究成果を踏まえ、拠点校を置く岩国市との連携により、小・中学校が年間2回の検証改善サイクルを活用しながら、学びの系統性を踏まえた授業改善に取り組むとともに、コミュニティ・スクール等の機能を生かした研究を推進する。また、各学校の実状に応じた取組を支援し、各教員のキャリア・ステージに応じた資質向上を図ることとする。</p> <p>具体的には、拠点校の小・中学校が、児童生徒の実態を踏まえた共通の研究テーマのもと、合同で研究を実施し、児童生徒による授業評価を活用したり、</p>

実践地域	拠点校	研究課題	研究概要
			<p>各教科の特質に応じた指導方法を工夫したりするなど、日常的な授業改善を行うこととする。</p> <p>また、県・市教育委員会として、拠点校への継続的な支援、各種研修会や学校訪問等による県内の各学校への普及啓発、拠点校以外の各学校や各教員の実状に応じた授業改善の取組支援を図っていくこととする。</p>
<p>国立大学法人 熊本大学</p>	<p>●熊本大学教育学部附属 小学校</p>	<p>変化の激しい社会を生き抜く子どもたちに、どのような困難に遭遇しても、他者と協働しながら、粘り強くよりよい解決策を見いだしていく力を育成することを目指し、指導内容、指導方法についての研究開発</p>	<p>獲得した知識・技能を総動員しながら、他者と協働的に問題解決を行なっていく「真正の学び」の実現のために、子どもが解決したいと思うような課題と出会い、価値観の異なる他者とかわりながら、本気になって問題解決を行う文脈的なプロセスに着目し研究を進めていく。そして「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を進めた先に、どのような子どもの姿が表れるのかを明確にする。研究の視点として「切実な学びを生み出す単元構成と課題設定の工夫」、「豊かな対話を生む教師の働きかけ」、「自らの学びをメタ的に捉え直す振り返りの工夫」の3つを掲げ研究を進めていく。研究の実施計画としては、まず全国学力調査の結果と児童の実態を分析し、理論研修において「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を基にした研究の方向性を明確化する。そして、授業公開と授業研究会の実施や実践協議会の助言を受け研究の修正を行っていく。</p>
<p>国立大学法人 佐賀大学</p>	<p>●佐賀大学教育学部附属 中学校 ●佐賀大学教育学部附属 小学校</p>	<p>児童・生徒の「深い学び」を実現する過程における、「主体的・対話的な学び」を築く方策について、児童・生徒の具体的な姿に着目して明らかにするための研究</p>	<p>(1) 「育成を目指す資質・能力」「学習活動（学習方法）」「学習内容」の関連について 小中9年間で育成を目指す資質・能力を明らかにする研究的実践を行う。育成を目指す資質・能力に基づき、各教科等の9年間の学習内容、特に教材や課題の関連性や系統性を明らかにする。課題の設定の仕方や提示の仕方、協働的に解決を試みる対話的な学習活動の在り方を明らかにする。</p> <p>(2) 「深い学び」につながる「主体的・対話的な学び」について 「主体的・対話的で深い学び」の3つを分けて考える事はできないが、児童・生徒の「深い学び」の達成のため、主体性をもたせる課題設定及び単元構成の改善を図る。主体的な学習活動の中で行われる対話的な学びの姿を具体的に明らかにする。</p>